

東北岩手応援音楽チャンネル


特定非営利活動法人

「音楽」「映像」「食」。
被災地～岩手～東北を
③つの力で元気にします！

3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



東北岩手応援チャンネル・活動履歴

映像部門

- ▶ 北上市更木地区 P R 映像
- ▶ 二戸地域 P R 映像
- ▶ 大船渡市子供向け教育・啓蒙映像



東北岩手応援チャンネル・活動履歴

食部門



東京生まれの岩手人・出淵晴彦（ハル）が東京
目線で選んだ岩手の食・クラフト等を

都内アンテナショップ“いわて銀河プラザ”で紹介販売
する「ハルさんチョイスマルシェ」を展開



東北岩手応援チャンネル・活動履歴

音楽部門



生演奏バンドで思い切り歌ってもらう『三陸歌声喫茶キャラバン』

現在、最も力を注いでいる事業

2014年 沿岸部で活動を開始

2019年 内陸に避難した被災者等向けにも活動開始

東北岩手応援チャンネル・活動履歴

最初は単独で開催。近年は行政・社会福祉協議会・NPOを始めとする市民活動団体等と協働で開催。

- ・NPO主催の食事会（けむし食堂）や映画上映会との共催。
- ・身体を動かすワークショップ展開をしている一般社団法人との共催。



参加者のアンケートより

「歌と生エレキ（住人の）演奏楽しかったです」

「生バンドは初めてでした」

「久々に歌えて楽しく過ごせました」

「楽器弾けるっていいな」



カラオケと生演奏との違い

Q. 「別にカラオケ大会でも良いのでは？」

Q. 「生演奏だと何が違うの？」



A. 「カラオケだと他の人の歌ってあんまり聞いていないんだよね」

A. 「生演奏だと慣れていない分、皆で手伝ったり励ましたりする」

A. 「初対面の人たちが自然と仲良くなれるのが生演奏の良さなんだよね」

(大槌町での開催時、現地の方の声より)

当事業 今後の展開①



「心の復興事業」から「社会福祉事業」へ

現在、**高齢化社会、独居老人の孤独死など**の問題は、
日本全国どの自治体でも「明日は我が身」の状態です。

音楽を活かした事業は「高齢者の生きがいづくり」
「コミュニティ活性化」にも繋がり、高齢者が元気に活躍できる、
社会づくりにも役立つものです。

当事業 今後の展開②



若い世代への継承を通じた人材育成

昨年度は岩手県立大学の学生支援室と協働して、学生ボランティアたちに「こんな形でも心の復興のお手伝いができるんだ」という啓蒙活動も展開。

高齢者と触れ合う機会も少ない若い世代の社員には、
イベントに盛り上げ役として参加してみるだけでも
立派な社会勉強、人材教育に繋がるものだと思います。

企業とNPOの連携・協働のご提案

- ・イベント開催のコンサルタント
- ・当法人パンフレットや歌詞カードへの協働企業名の掲載
 - ・企業パンフレットの配布
 - ・人材育成の連携・協働



東日本大震災からまもなく10年。

仮設住宅から災害公営住宅に移った今こそ被災者の心の癒しは必要です！！ 商業施設のカラオケに行けばいい問題ではなく、避難者の緊張感が途切れ、ようやくこれからの生活再建を考えだす時期であり、イチから新たなコミュニティの再生・再構築が必要なのです。



行政との協働、大学との連携、民間団体、そこに企業が加わった、
「産学官民連携」のプロジェクトを一緒に進めて、
「心の復興・社会福祉事業」をさらに継続、活動の拡大を
推進していきましょう。

